

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1771400312		
法人名	特定非営利活動法人楓		
事業所名	グループホームかえで		
所在地	石川県河北郡津幡町横浜穂14番地2		
自己評価作成日	平成31年3月7日	評価結果市町村受理日	令和元年5月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	(有)エイ・ワイ・エイ研究所		
所在地	金沢市桂町口45-1		
訪問調査日	平成31年3月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今までの生活を継続出来るように利用者一人ひとりに合った生活支援を行っている。看護部があり、慢性疾患の人も安心して入所出来るようにしている。又、緊急時もすぐに対応出来るようになっていいる。予防に対する意識を高め、自発的な努力をつみかさねている。公共施設やスーパー、薬局、公園が近く、利用者が職員と共に散歩、買物等 気軽に出掛けられる環境にある。ホーム内で猫を飼っており、利用者が世話をし、張り合いや喜びを持って日々を過ごせるようにしている。昨年も看取りをしており、家族、入居者の要望により積極的に看取りを受け入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは「利用者のこれまでの日常生活を継続する事に努力します」を理念として、「笑顔、おもいやり、元気」をスローガンとして掲げ、利用者一人ひとりの生活歴・持てる力を大切に支援に取り組んでいる。又、職員一人ひとりが年度当初に支援目標を定め、日々の実践に繋げている。日常生活場面では「本人の望んでいる事＝楽しみ」「健康管理」「身体機能の維持」の視点を重視した介護計画を作成し、日々の支援に活かしている。健康管理面では馴染みのかかりつけ医への継続受診を基本とし、ホーム側で都度必要な支援(職員の付き添い等)を行っている。会社全体の看護職員による24時間のサポート体制や近隣に消防本部も所在しており、緊急時への備えが整えられている。最後まで利用者に寄り添えるよう、関係機関(訪問診療医等)の協力を得ながら、重度化・看取りの支援にも積極的に取り組んでいる。地域とは地区行事(運動会、夏祭り、敬老会等)への参加や住民ボランティアの受け入れ等を通じて交流を図っている。近隣の商業施設や公園も普段から利用し、地域住民と気軽に挨拶を交わしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~59で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
60	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	67	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていいる (参考項目:9,10,19)
61	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,42)	68	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
62	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:42)	69	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
63	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:40,41)	70	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
64	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:53)	71	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
65	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	72	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
66	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)		